

宮城県感染症発生動向調査情報

— 2018.9.24～2018.9.30 — 第39週 —

平成30年10月4日発行

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							仙 台 市 患者数	宮 城 県 (含 む 仙 台 市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第36週	第37週	第38週	第39週
水痘	1 0.20	1 0.10	1 0.20				1 0.50	6 0.22	11 0.19	870				
流行性耳下腺炎	1 0.20	1 0.10	1 0.20	1 0.50				8 0.30	12 0.20	181				
感染性胃腸炎	17 3.40	10 1.00	5 1.00	7 3.50	6 2.00	4 0.80		60 2.22	109 1.85	10,401	◎	◎	◎	◎
手足口病	10 2.00	13 1.30	23 4.60	4 2.00	4 1.33		2 1.00	23 0.85	79 1.34	1,717	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑		2 0.20	4 0.80			2 0.40	2 1.00	69 2.56	79 1.34	822	○	◎	◎	◎
突発性発しん	1 0.20	6 0.60	4 0.80		2 0.67			12 0.44	25 0.42	1142	○	レ	○	○
ヘルパンギーナ	7 1.40	14 1.40	1 0.20	6 3.00		7 1.40	7 3.50	31 1.15	73 1.24	3,084	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ	1 0.13	1 0.07				1 0.13		3 0.07	6 0.06	34,023				
咽頭結膜熱		1 0.10		1 0.50				9 0.33	11 0.19	869				
流行性角結膜炎		3 1.00							3 0.25	135				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17 3.40	14 1.40	2 0.40		1 0.33	17 3.40	1 0.50	25 0.93	77 1.31	6,155	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	5				
無菌性髄膜炎									0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎			1 1.00				1 1.00	1 0.20	3 0.25	129				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症	16 3.20	8 0.80	1 0.20	2 1.00	1 0.33		1 0.50	25 0.93	54 0.92	2,018	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	31				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1							3					
	川崎病													
	不明発しん症					1			5					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告)はありません。

2. 全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核(患者(確定例))
- 仙南管内 男性1名(第38週)
 - 塩釜管内 男性1名
 - 石巻管内 男性1名
 - 気仙沼管内 男性1名
 - 仙台管内 男性1名、女性1名
- 結核(無症状病原体保有者)
- 大崎管内 男性1名
 - 仙台管内 男児1名※、女性1名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)
- 石巻管内 女性1名
- 腸管出血性大腸菌感染症(O157、O103)
- 登米管内 男性1名
- 4類感染症: レジオネラ症
- 仙台管内 女性2名
- 5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症
- 気仙沼管内 女性1名
- 梅毒
- 登米管内 女性1名
 - 百日咳
 - 仙台管内 男性1名
- ※男児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

- [手足口病]
- 仙南管内で警報レベルを継続中です。
 - 栗原管内で警報レベルを継続中です。
- [伝染性紅斑]
- 気仙沼管内で警報レベルを継続中です。
 - 仙台管内で警報レベルを継続中です。
- [ヘルパンギーナ]
- 栗原管内で警報レベルを継続中です。
 - 気仙沼管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より				
塩釜管内	第36週採取分	アデノウイルス41型	1件	
RSウイルス感染症患者より				
仙南管内	第37週採取分	RSウイルス	4件	

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第36週採取分 (9.3～9.9)	第37週採取分 (9.10～9.16)	第38週採取分 (9.17～9.23)
RSウイルス	3件	1件	1件
アデノウイルス	1件	0件	0件
エンテロウイルス	1件	0件	0件
サイトメガロウイルス	1件	3件	0件
パラインフルエンザウイルス	0件	1件	0件

4. 今週のコメント

【風しん】

風しんは、発疹を伴う急性ウイルス性感染症で、今年7月下旬頃から関東地方を中心に患者数の報告が増加しており、厚生労働省では注意喚起を行っています。妊娠20週頃までの女性が感染すると、胎児に影響を与える場合があり、先天性風疹症候群となる危険性があります。風疹はワクチンで予防可能な感染症ですので、女性は妊娠前に接種を済ませておくことをお勧めします。また、周囲に妊娠されている方がいる場合は、配偶者等周囲の方々も予防を徹底してください。

【梅毒】

梅毒は、梅毒トレポネマによる感染症で、感染経路の多くは異性間や同性間の性的接触によるものです。2018年は県内での報告数(第39週まで)は68例と、すでに2017年1年間の報告数を超えています。生殖器にしこりやただれなどの症状が出るほか、妊婦の場合は流産や死産のおそれもありますので、感染が疑われる場合には早期に医師の診断・治療を受けることを心がけてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
 電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
 HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

